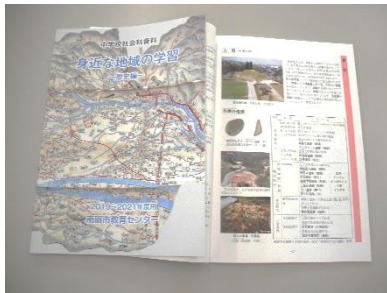


《調査研究委員会活動報告》委員の先生方、ありがとうございました

中学校社会科資料委員会



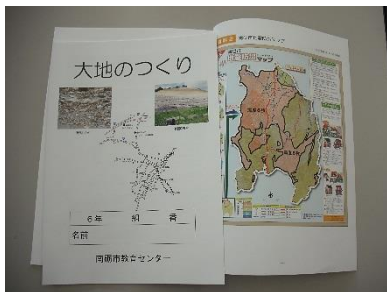
【身近な地域の学習 歴史編】

社会科資料委員会では、中学校社会科学習資料「身近な地域の学習－歴史編－」の改訂版を作成しました。活用のしやすさ、見やすさを重視し、分かりやすい表記に直したり、一部資料を差し替えたりしました。中学校の「郷土の地形図」も最新版に改訂し、印刷しました。

- ・「身近な地域の学習－歴史編－」・・・2019年度中学1年生分
- ・「郷土の地形図」・・・・・・・・・・2019年度中学2年生分

新年度初めに、上記の対象学年分を配付します。授業での使用時期まで、各校で保管をお願いします。

理科資料委員会

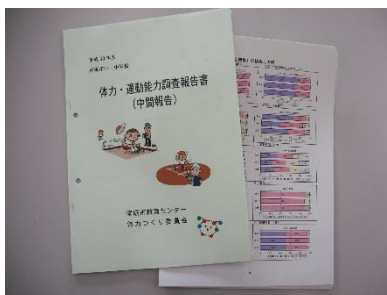


【大地のつくり】

小学6年生理科現地学習資料「大地のつくり」の改訂版を作成しました。現地確認を行い、地層の違いや色の重なりがより分かりやすい写真や図を掲載しました。新学習指導要領に合わせて、防災に関する内容も充実させました。新年度初めに、全ての小学6年生向けに配付します。8月に各小学校へ配付した「現地見学での留意事項」※と合わせてご活用ください。

※データ：10 教育センター¥◎教材◎¥小学校¥4 理科¥6年

体力づくり委員会



【体力・運動能力調査報告書】

今年度、3か年計画の1年目となる「体力づくり委員会」では、体力・運動能力の状況について小中学校間で情報交換し、走力の向上を目指した取組をすることに決めました。今後は、小中学校で連携を図りながら、対策を考え、推進していくこととなります。

児童生徒の体力・運動能力を高めるためには、継続的に取り組むことが大切です。また、家庭や地域との連携や共通理解が必要です。全校、校区をあげての取組と、家庭や地域への発信・連携をよろしくお願いします。

終わりに

会議で市内の学校に訪れたときのことで。児童の方から訪問者の私に気付いて、「こんにちは」と元気に挨拶をしてくれました。うれしくなりました。授業が始まるのでしょうか。ちょっと急いで階段を上がっていきその児童の後ろ姿に、「会議室は、『2階』で合っていますか」と慌てて尋ねると、くるりこちらを向いて、「ここを上がって、右にずっと行くと、会議室です」と、身振りも入れながら教えてくれました。とっさにできる、なんとさわやかな対応なのでしょう。「どうも丁寧にありがとうございました」と、思わずこちらも笑顔になった出来事でした。

さて、平成30年度も終わろうとしています。市教育センターの諸活動にご理解とご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。これからも、先生方のご要望を一層反映できるよう努めていきたいと思っております。さらなるご利用とご意見をお願いいたします。(記 松井)



教育センターだより



南砺市教育センター

「学びの芽」

今、村上春樹の小説「1Q84」の虜になっている。9年前に出版され、当初、文庫本は店頭になかった。昨年秋、富山の書店で文庫本で出版されているのを見かけた。全7巻並んでいた。自分は、シリーズ本を購入するときは、いつも最後の巻を残して購入する変な癖があり、「1Q84」も6巻までにとどめた。

現在4巻目の終盤にさしかかっている。休日にじっくり読む時間が確保できにくい状況にあり、病院通いの待ち時間が読み浸れる唯一の時間である。喜ぶべきことではないが通院の機会が多いので結構楽しめる。

主人公とも言うべき、同級生二人の男女を中心に描かれている。男性は「天悟」、作家志望で塾の講師をしながら生活をつないでいる。かたや女性は「青豆」、表向きはOLを装っているが、今で言う「必殺仕置き人」的な仕事を引き受けている。この二人にスポットを当て、各章が「天悟」、「青豆」の標題のもと交互に進められている。

読み浸れる本は、ページが進むにつれ、今までのストーリーが不思議と甦って来る。そうでもないときでも、1、2ページ前から重ね読みをすれば鮮やかに甦って来る。

これから先どう物語が展開していくのか、ハラハラ、ドキドキの連続であり、物語にどっぷり浸っている自分が常にそこにいる。村上春樹の知力溢れ、洗練された文体で、一語一語絞り出されるように描かれている。こうした点が読者を釘付けにしているのだろう。

本年度も学校訪問等で先生方の授業を多く参観した。次の時間も見届けたい気持ちに駆られる授業が徐々に増えている。子どもたちの学びの姿勢がそれをよく物語っている。共通して言えること3点指摘したい。

南砺市教育委員会 教育長 高田 勇

1点目は学習課題に、「なぜ？」と思わせる仕掛けが巧みに施され、考えてみたくなる設定がされている。考えを巡らせる中で、子どもたちは自ずと既習事項を駆使している。

2点目は、話し合い活動を通して、答えの根拠を自信持って言えるようになったり、自分にはなかった考え方に気付いたりし、新たな学びに繋がっていく場面が仕組まれている。そこには、自分と他者との深い関わりが生まれている。

3点目は、先生の話子どもたちが真剣に聴いている。「わかりましたか」、「しっかり聴きましょう」等の言葉があまり先生からは聞こえてこない。学び浸っている様子が伝わってくる。

今、指摘した3点で一番難しいのは、3点目である。2005年に99歳で亡くなった生涯現役の国語教師大村はま先生は、著書「日本語を豊かに」で「子どもたちが、つまらない話や何度も聞いた話を集中して聞くと聞いた芸当ができると思うのは、人間への誤解だと私は思います」と述べている。先生は日々話す力を鍛え続け、一語一語魂が込められた話を子どもたちにしたという。「わかりましたか」等の言葉は決して言わなかった。

授業は言うまでもなく、子どもたちが最も大きく成長する場であり、真剣勝負の場である。新学習指導要領完全実施を目前にひかえた今、先生方の不断の努力により南砺市の子どもたちの学びの芽が大きく伸びていくよう願っている。

「1Q84」も4巻目を終わろうとしている。一刻も早く6巻目まで読み切り、7巻目の結末に到達したい気分である。



《NYT（南砺市若手教師）道場の活動》より

今年度も、南砺市小中学校の採用6年目までの若手教師によるNYT道場が行われました。「学校の枠を超えた仲間をつくる」「自主研修を通して、ともに学び、高め合う」を目標に、平成25年に発足して6年が経ちました。今年度は、6年次の運営委員が企画・運営のリーダーシップを取り、他の6年次も協力する体制で研修会を進め、負担を減らして、質を高めることを目指しました。「南砺をもっと知りたい」「異業種の方と関わりたい」という参加者からの声を生かした研修会が実施できました。

<p>第1回</p> <p>日時：6月19日（火） 19:00～</p> <p>会場：井波社会福祉センター 2階研修室</p> <p>参加人数：41人</p> <p>講師：富山県生活環境文化部 文化振興課 シアター・オリンピックス推進班 主任 澤 千恵 氏 主任 寺島 寿治 氏</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl;">開講式</p>	<p>定例会 今年度の活動計画</p>  <p>運営委員から、運営の改善点、活動内容の提案がありました。提案理由、活動の意義が伝えられ、提案を基に、今年度の計画を立てていきました。</p> <hr/> <p>南砺の魅力再発見①（利賀演劇とシアター・オリンピックスについての講話）</p>  <p>県庁職員から、利賀の演劇、今年開催されるシアター・オリンピックスの話をお聞きしました。ほとんどの会員が鑑賞したことがなく、利賀の演劇への関心が高まりました。</p>
<p>第2回</p> <p>日時：8月8日（水） 18:30～</p> <p>会場：福光体育館</p> <p>参加人数：29人・保育士8人</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl;">レクリエーション</p>	<p>ビーチボール大会</p>  <p>保育士の参加もあり、スポーツを通して楽しく交流ができました。</p>
<p>第3回</p> <p>日時：8月25日（土） 19:30～</p> <p>会場：利賀芸術公園</p> <p>参加人数：30人</p> 	<p style="writing-mode: vertical-rl;">体験活動</p>	<p>南砺の魅力再発見②（利賀SCOT「世界の果てからこんにちは」演劇鑑賞）</p> <p style="border: 1px solid red; padding: 2px; display: inline-block;">参加者の感想より</p> <p>「SCOT や利賀の演劇のこと等、地域について新たに知ることができてよかった。楽しかった」</p> <p>「『南砺市の魅力再発見』は、社会科や総合的な学習の時間につながるのよかった」</p> 
<p>第4回</p> <p>日時：1月31日（木） 18:30～</p> <p>会場：井波総合文化センター 第1会議室</p> <p>参加人数：41人</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl;">講話</p> <p style="writing-mode: vertical-rl;">閉講式</p>	<p>講話 南砺市教育委員会 教育長 高田 勇先生</p>  <p>高田教育長さんからは、「授業の本質」「教師の果たすべき役割」等についてご講話いただきました。一人一人が、自分の教師としての在り方を見つめ直す機会となりました。</p>

今年度も多くの若手教員の参加があり、校種や経験年数を超えて交流することができました。運営委員、協力いただいた6年次教員、会員の参加にご配慮いただいた方々に感謝いたします。

《ステップアップ研修会》より

この研修会は、7年次～9年次の若手教員に、南砺市内の先輩の授業・学級経営等を参観する機会を設け、教育観や授業観、支援の在り方等から学んだことを今後に生かしたり、これまでの自分の取組を振り返ったりすることを目的に実施しました。南砺市全体を大きな職場と考えたOJT研修です。今年度は、7名の先生方が受講されました。指導者の先生方、受け入れ校の先生方ありがとうございました。

《受講された方の感想の一部》

- ・最も印象に残っている先生の言葉は、「子供は、教師がかけた言葉のようになる」である。子供たちをやる気にさせる言葉と手立てを根気強く丁寧に積み重ねておられる姿が、生き生きとした子供たちの成長につながっていると感じた。
- ・同教科の先輩教員との懇談や授業の参観は、大変貴重で有意義な機会であった。普段自分が感じている疑問に答えていただいたり、自分の実践例を伝えたりする機会を通して、自分自身の指導観を見つめ直すことができた。



《2019年度の教育センター研修事業計画（案）》

◆砺波地区教育センター協業・準協業研修

研修会名 (担当教育センター)	実施予定日	受講対象者
栽培学習指導法研修会 (担当:小矢部市)	4月11日(木)	砺波地区幼保小中学校教職員
理科教育講座〔自然観察〕 (担当:小矢部市)	6月5日(水)	砺波地区小中学校教職員
道徳教育研修会 (担当:小矢部市)	7月26日(金)	砺波地区小中学校教職員
特別支援教育研修会 (担当:砺波市)	7月31日(水)	砺波地区小中学校教職員
学級づくり講座 (担当:小矢部市)	8月8日(木)	砺波地区幼保小中学校教職員
実技指導法研修会〔歌唱〕 (担当:砺波市)	8月22日(木)	砺波地区幼保小中学校教職員
外国語活動・外国語科研修会 (担当:南砺市)	8月23日(金)	砺波地区小中学校教職員
資質能力向上研修会 (担当:南砺市)	9月17日(火)	砺波地区幼保小中学校教職員

◆南砺市教育センター主催研修

学校図書館研修会	6月以降	市内学校司書助手、希望者
スタディ・メイト等研修会	6月25日(火)	スタディ・メイト、適応指導員
ふるさと学習研修会(井波地域)	7月29日(月)	市内初任勤務者、希望者
学力向上研修会	8月5日(月)	小中学校教務主任又は研究主任
南砺市教育講演会	8月9日(金)	小中学校教職員悉皆
ステップアップ研修会	6～11月(希望日)	7～9年次の教員
小学校外国語活動・外国語科導入に向けての研修会	6～10月(全6回)	小中学校教員(希望者)



- ◆ 県教職員研修計画、南砺市の教育課題、南砺市教育講演会での研修希望調査等を基に、2019年度の市教育センター研修計画を立てました。
- ◆ 2019年度南砺市教育センター第1回運営委員会での了承を受け、4月下旬配付予定の「教育センター要覧」で各学校に正式にお伝えします。